

軽度外傷性脳損傷 (MTBI) とは…

■ MTBI とは

交通事故などで、頭を直接打ったり、または頭が前後左右に揺れると、脳に衝撃が伝わり、脳損傷が起こることがあります。WHO（世界保健機関）の定義では30分以内の意識喪失、24時間未満の外傷後健忘を示す脳損傷は、MTBIと呼ばれています。MTBIの中には、重症な経過をたどる例があるので、注意が必要です。

■ 主な原因

○交通事故



○高所からの転落

○転倒



○スポーツ外傷



○暴力

○乳幼児の揺さぶり



■ 主な自覚症状

○記憶力、理解力、注意・集中力の低下と情緒不安定（高次脳機能障害）



○発作性意識障害（てんかん発作）

○手足の動きが悪い、手足の感覚がにぶい（運動まひ、知覚まひ）



○においがしない、見えにくい、味がしない、耳がよく聞こえない、水でむせる（脳神経のまひ）



○尿や便の出方が今までと違う（括約筋の障害）



軽度外傷性脳損傷 (MTBI) とは…

■ 初期の対応

交通事故などの後に次の症状が現れたら、医療機関を受診して下さい。

受傷後の症状

- 意識状態がいつもと違う
- 事故前後の記憶がない
- けいれん
- 手足に力が入りにくい、手足がしびれる

手足に力が入りにくいなどの症状は、事故後数時間から数日、場合によっては数週間後に現れることがあるので、注意が必要です。

■ 外傷性脳損傷 (TBI)

WHO の報告によれば、外傷性脳損傷は毎年、人口 10 万人あたり 150 人～300 人発症し、その 9 割が MTBI とされています。そして、MTBI の約 1 割が慢性化するとされています。

日本全国では、数十万人の MTBI 患者が潜在していると、推定されています。



■ MTBI の診断

主要な症状

- 手足の運動障害と知覚障害
- 排尿や排便の障害
- 脳神経のまひ症状
- 高次脳機能障害

MTBI の診断には全身の神経を詳しく診察する必要があります。また、脳の病変が画像に写らないことが多く、眼科・耳鼻科・泌尿器科・リハビリテーション科・整形外科・精神科・脳神経外科などの協力による総合的な診断が求められます。